

2015.3.15 神奈川県立平塚工科高等学校防災研修報告

特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク

3月15日（日）神奈川県立平塚工科高等学校において防災研修を実施

平塚工科高校生 23名 近隣高校生等 47名 合計70名参加

一般参加者、学校関係者を含め総勢 100名の参加による防災研修でした。

宮城県立石巻西高等学校斎藤校長先生と生徒さん10名、引率の先生方4名でお越しいただき、被災地高等学校の現状や、被害当初の様子などをお話していただき講演を行っていただきました。

災害と災害の間を生き抜く皆さんが自らの判断で被害に遭わないような意識の向上を常に希望、人を育てる事も、学校を育てる事も皆生徒さん方自身である事などのお話もお伺いしました、高校生が率先して防災を考えて頂ければありがたいとお話がありました。



石巻西高校 斎藤校長先生による講演の様子です。多くの高校生関係者が耳をむけておられました。総勢100名の皆さんのご参加でした。

斎藤校長先生
ありがとうございました。



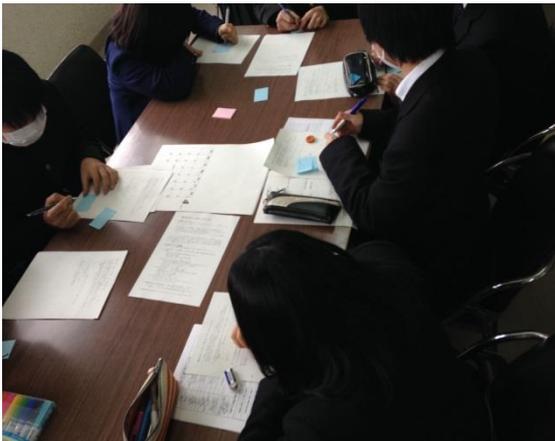
石巻西高防災担当 上園先生による防災カレンダー制作作りのご指導を頂きました。生徒さん方は真剣にカレンダー制作を行っていました。家庭に貼るカレンダーに日々の行事と防災意識の向上になる防災計画や日々の注意事項などが書いてあると便利ですね。

石巻西高の生徒さん方は、当時中学生大きな被害を目のあたりにしてきている事や、目の前で大きな被害などがあった事など、お話をして頂いた方も居ました、これ以上大きな被害に見舞われないよう日々の防災意識の向上を心がけたいです。



近隣地区の学校の先生も防災カレンダー制作にチャレンジしていただきました。

先生！うまくいきましたでしょうか？ ありがとうございます。



当日は、自己紹介などを行い、コミュニケーションを取ってからのテーブルワーク、防災カレンダー制作にかかりました、多くの事をカレンダーに取り入れたい方ばかりでした。

【河西実行委員長】

平塚工科高校での「高校生の防災研修」石巻西校の生徒さん先生は、昨日に引き継いでの研修会にもかかわらず元気いっぱい対応して下った。その精神の源は西高の斎藤校長先生の講演で示された。私たち被災者は大人も子供も伝えることが使命である事、今聞いている神奈川県の高校生の皆さんは伝え広める事、自主的、実践的備えをする事が使命である！ また高校生に対し「大人に任せていても命は守れない。自分の判断で行動すること、まさに「命に向き合う防災教育」であった。高校生には何が出来るかではなく、何をしなければならぬかを考え、次に来る災害への備えに生かさなければいけない。防災カレンダーの制作過程では、①平時から防災・減災の意識を高める情報の収集、②災害が発生した時、役立つ情報や約束事、③科学的見地から災害に関連する知識等をグループワークで議論を高め、学校行事や地域の行事、家族の予定を入れ、より身近なものにするとともに、季節感のある記録を織り込むことにより、親しみのあるカレンダーとなる。ゲーム感覚とディスカッションしやすい工夫がなされていた。次代を担う「高校生の防災教育」は今一番必要とされている課題であることを再認識させられた。河西



県内参加高校生による防災カレンダー制作の発表。

大変ユニークな発表もあれば、優秀な発表もありさまざまでした、カレンダーが家庭で掲示していただけるようになると良いですね。

防災カレンダー制作では、テーブルに8名程度の高校生（各学校+西校）達による活発な意見交換やアイデアなどが出、実際に家庭や学校、地域で生かされるカレンダーになるといいですね。

【担当理事よりの感想】

森理事（SL）

カレンダーを作ることで、生徒たちの防災に対する意識付けには、いい方法だと思う。
高松理事（都市防災研究会）川辺監事（都市防災研究会）丸 理事（葉山災害ボランティア）鈴木久理事（平塚災害ボランティア）

今年度の防災研修は、横浜地区、平塚地区、三浦横須賀地区の多くの生徒さん方がご参加を頂き、大きな交流が今後出来る、きっかけ作りになれたと考えています、次年度以降この防災カレンダー制作や、防災カルタ、他の防災関連ゲームや講演などを通じ、高校生を中心としたユースへの防災意識向上への活動を重点事業と考え行っていきます。

27年度以降に付きましても同様の活動が開催できます事を希望いたします。

以上、ご報告申し上げます。

2015.3.23

実行委員 市原